

インド最新動向レポート（2022年12月）

◎印入国にコロナ陰性証明書提出義務付けへ

インド国外でのコロナウイルス感染の拡大を受け、日本、中国、韓国、香港の4カ国からの旅客に対し、インド入国する際PCR検査による陰性証明書の提出を義務付けることになった。

◎全日空 1月に羽田一デリー週7往復に増便

全日空は羽田一デリー便について、1月24日から現行の週5往復を毎日運航（週7往復）に増やす。

◎SBIとHDFC銀 預金金利を引き上げ

インドの国営銀行最大手インドステイト銀行（SBI）と民間最大手HDFC銀行の2行は預金金利を5.75～6.75%に引き上げると発表した。

◎世界企業価値ランク 印企業数は国別で5位

中国の民間調査機関の発表によると、世界で最も価値の高い企業500社のリスト「フルン・グローバル500」の2022年版に、インド企業20社がランクインした。国別の企業数はカナダと並ぶ5位。21年版の9位から順位を4つ上げた。

◎中印係争地で両軍衝突双方に負傷者

インド陸軍は12日、北東部アルナチャルプラデシュ州の中国との係争地で9日に印中両軍が衝突し、双方に負傷者が出たと明らかにした。

◎グジャラート州議会選 BJPが大勝

グジャラート州議会選挙（定数182）にて、与党のインド人民党（BJP）が156議席を獲得し大勝した。前回の2017年選挙の99議席から大きく躍進し、7期連続で政権の座に就く。

◎ギグワーカー 25年までに1,100万人増も

米求人サイト運営大手の調査によると、インド企業の58%が「ギグワーカー」（インターネットを通じて単発の仕事を請け負う「ギグエコノミー」の従事者）について、2025年までに現在よりも900万～1,100万人増えると予想した。

◎がん診断数 25年は157万件に増加見通し

インドで2025年のがんと診断される人の数は157万人に増える見通し。

◎世銀 本年度成長率の予測を 6.9%に引き上げ

世界銀行はインドの 2022 年度の国内総生産（GDP）成長率予測を 6.9%に引き上げた。10 月時点では 6.5%と予測していた。11 月末にインド準備銀行（中央銀行）が発表した 2022 年 7～9 月 GDP の力強さを考慮し予測を上方修正した。

◎インド工科大学生が就職面接開始

インド工科大学の学生は優秀なことで知られるが、複数名の学生が 4,000 万ルピー（約 6,600 万円）を超える年間報酬の提示を受けたようだ。昨年の最高提示額は 2,160 万ルピー。

以上

NakajimaConsultancyServicesLLP
OfficeA-22,GreenParkMain,AurobindoMarg,NewDelhi-1100016